

授業科目	構音障害Ⅳ（運動障害性）				
担当者	熊倉 勇美				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

ST の果たすべき役割を具体的に学びます。評価法、訓練法などを習得しましょう。

■ 到達目標

症状とその背景を理解し、分析と訓練プランの立案、実施が出来るようにしましょう。

■ 授業計画

- 第1回 構音障害と ST 臨床の流れ
- 第2回 運動障害性構音障害（dysarthria）とは何か？
- 第3回 症例紹介：dysarthria、発語失行、失語症
- 第4回 症例紹介：原因疾患と臨床分類①
- 第5回 症例紹介：原因疾患と臨床分類②
- 第6回 ST の果たす役割：観察、検査と評価
- 第7回 包括的検査と要素的検査：その考え方と方法
- 第8回 リハビリテーション：その考え方と方法①
- 第9回 リハビリテーション：その考え方と方法②
- 第10回 拡大・代替コミュニケーション（AAC）、まとめ
- 第11回 器質性構音障害とは何か？
- 第12回 口腔・中咽頭がんの原因と治療
- 第13回 症例紹介：評価と訓練①
- 第14回 症例紹介：評価と訓練②
- 第15回 補綴治療、まとめ

■ 評価方法

筆記試験（100%）

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業は症例紹介などを通じて、具体的に、また演習で体験的にも行います。確認したいことや疑問点があれば、いつでも積極的に発言して下さい。

■ 教科書

書 名：改訂・運動障害性構音障害

著者名：熊倉勇美 編著

出版社：建帛社

書 名：口腔・中咽頭がんのリハビリテーション：構音障害、摂食・嚥下障害

著者名：溝尻源太郎・熊倉勇美 編著

出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

■ 留意事項

無断欠席や遅刻に注意して下さい。

講義受講にあたって：ST の役割を具体的、实际的に理解して下さい。

■ 講義受講にあたって